

第19回ポスター賞（今年度の選考結果について）

授賞選考委員長 北島 健

同副委員長 石田 秀治

本賞は日本糖質学会年会におけるポスター発表で、35歳以下の会員が行い糖質科学の進歩に寄与する顕著な研究発表を4件程度選び、「日本糖質学会ポスター賞」として表彰し、副賞としてシアル酸研究会（山川民夫会長、小倉治夫事務局長）からの賞金を贈呈するものです。詳細は、糖質学会ポスター賞規定をご覧ください(<http://www.jscr.gr.jp/?p=contents&id=18>)。本年度は第35回日本糖質学会年会（9月1～3日、高知、本家孝一代表世話人）のポスターセッションの演題の中から、予め発表申込時点で申請のあった52題（全発表件数131題）を対象に、発表要旨、ポスターの出来栄え、発表内容および質疑応答などの諸点を踏まえて、12名の選考委員が厳正なる選考を行いました。理事会の議を経て、下記4名の方々を受賞者と決定いたしました（敬称略）。表彰は、平成29年度総会（平成29年7月19日～7月21日の第36回年会中に開催）にて行う予定です。ポスター発表のレベルは高く、惜しくも選に漏れた方々の発表も素晴らしいものでした。次回の年会でも会員の皆様からの多数の申込をお願いいたします。最後に、2日間に亘り選考にあたって下さった12名の選考委員の方々に改めて御礼申し上げます。

[化学系]

石井 希実（群馬大学大学院理工学府）

「5糖蛍光プローブを用いたエンド-β-N-アセチルグルコサミニダーゼの活性検出」

三宅 秀斗（大阪大学大学院理学研究科）

「HaloTagテクノロジーによる生細胞への糖鎖提示とそれを用いた機能解析」

[生物系]

平田 哲也（大阪大学微生物病研究所）

「立体構造モデルに基づいたGPI-GalNAc転移酵素PGAP4によるGPI側鎖合成機構」

渡辺 昂（九州大学大学院農学研究院）

「病原性真菌は免疫賦活化糖脂質を分解することでMincleを介した自然免疫系から逃避する」